フォルダエクスポート

テーブルのデータを別のアプリケーションのファイルに書き出す

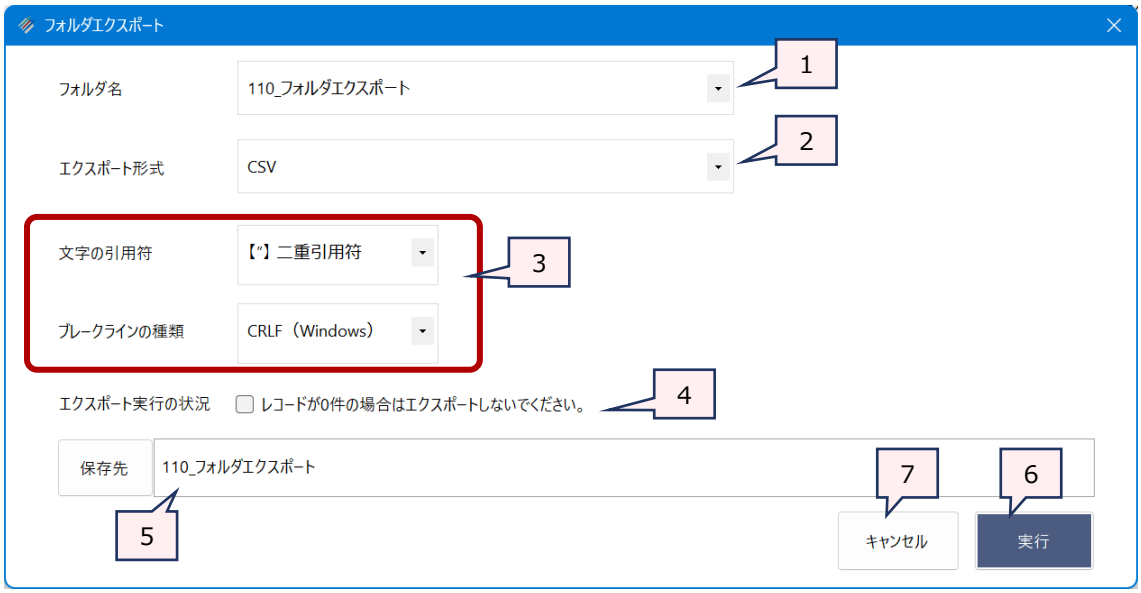
◇機能

《フォルダエクスポート》は、フォルダ内のテーブルを一括でExcelファイルまたはCSVファイルに書き出す機能です。

◇メニュー

《分析》-《フォルダエクスポート》

◇設定内容



1. フォルダ名　　：エクスポート対象となるフォルダを選択します。
2. エクスポート形式（必須）
   ：リストからエクスポートするファイルの種類を選択します。
   - EXCEL：Excelファイルにエクスポートします。
   - CSV：CSVファイルにエクスポートします。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

3.エクスポート形式ごとの設定項目（エクスポートオプション）

：「エクスポート形式」で選択したファイル形式により、設定内容が変わります。

➢ EXCELを選択した場合

- 出力方法（必須）：フォルダ内のテーブルをどのように出力するかを指定します。
  - 別々のファイルにエクスポートする：別々のExcelファイルに出力します。「保存先」で指定した名称のフォルダが作成されます。
  - 一つのファイルにエクスポートする（フォルダ単位）：1つのExcelファイルを出力します。テーブルごとのワークシートが作成されます。「保存先」で指定した名称のフォルダが作成されます。
  - 一つのファイルにエクスポートする（フォルダ全体）： 1つのExcelファイルを出力します。テーブルごとのワークシートが作成されます。フォルダは作成されず、「保存先」で指定した名称のExcelファイルが作成されます。
- 書式を維持する：ONにすると、同じフォルダ内で同一名のExcelファイルを検出し、利用されている書式と同様の書式でエクスポートします。

➢ CSVを選択した場合

- 文字の引用符：データに引用符をつけるかどうかを選択します。引用符を付ける場合は、「二重引用符」または「一重引用符」が選択可能です。
- 改行の種類：CSVファイルの改行の種類（改行コード）を選択します。「CRLF（Windows）」または「LF（UNIX系）」を選択します。

  ※THUMGY Dataのバージョン2.3.1までは、CSVファイルの改行コードは「LF（UNIX系）」が使用されていました。2.3.1までのバージョンで作成したCSVエクスポートのスクリプトを2.3.1より後のバージョンで実行すると、改行コードは「CRLF（Windows）」が使用されます。

4.エクスポートの実行有無

：「レコードが0件の場合エクスポートを実行しない」にチェックをつけた場合、スクリプトからエクスポートを実行する際にレコードが0件の場合、エクスポート処理を実行しません。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

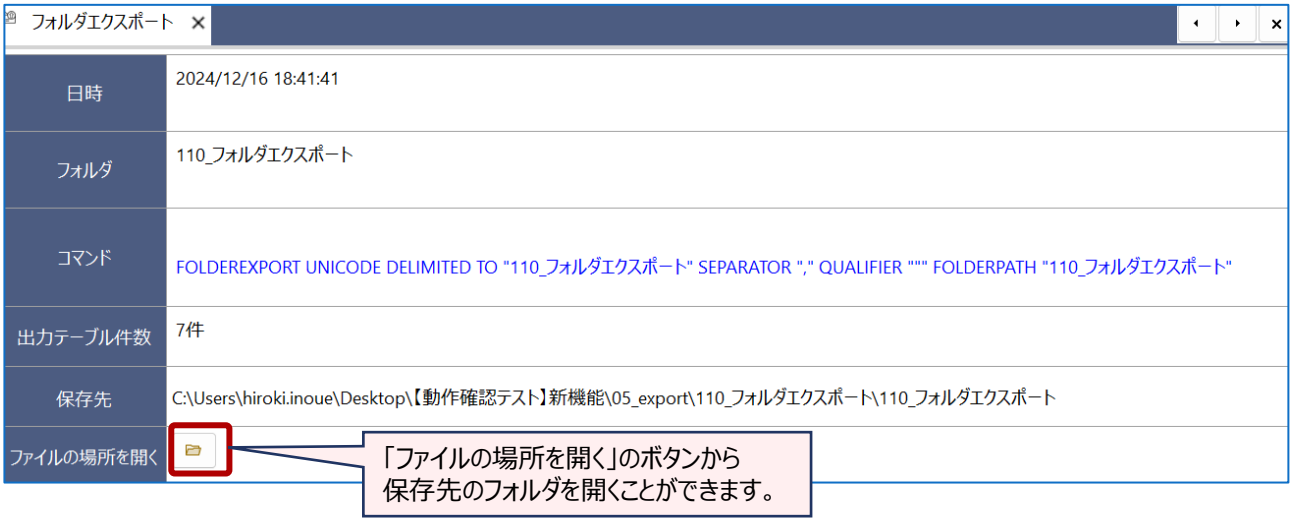
5. 保存先（必須）　：エクスポートするフォルダ名を入力します。
   - ファイルの保存先は、プロジェクトフォルダの「05_export」フォルダです。

   ＜ファイルの上書きについて＞
   - 保存先に同じ名前のファイルが存在する場合は、ファイルを上書きするか確認するメッセージが表示されます。
   - Excelファイルの場合は、ファイルの上書きを確認するメッセージで《はい》を選択すると（上書きを実行すると）、「ワークシート名」で指定した名前と同じ名前のワークシートが存在する場合は、そのワークシートを上書きします。同じ名前のワークシートが存在しない場合は、ワークシートを追加します。

6. 《実行》ボタン　：実行します。

7. 《キャンセル》ボタン　：実行せず画面を閉じます。

◇実行結果の画面



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇**操作ログ**

- エクスポート形式がEXCELの場合

FOLDEREXPORT EXCEL TO “ファイルパス¥ファイル名” エクスポートオプション FORMATON **FOLDERPATH** “フォルダ名” SKIP IF EMPTY

※エクスポートオプションは、選択したエクスポートオプションにより記述が変わります。

選択したエクスポートオプション	ログ
別々のファイルにエクスポートする	SEPARATE
一つのファイルにエクスポートする（フォルダ単位）	COMPILE
一つのファイルにエクスポートする（フォルダ全体）	COMPILEALL

※「書式を維持する」をONにすると、「FORMATON」が記述されます。

※「エクスポートの実行有無」で、「レコードが0件の場合エクスポートを実行しない」にチェックをつけると、「SKIP IF EMPTY」が記述されます。

- エクスポート形式がCSVの場合

FOLDEREXPORT UNICODE DELIMITED TO “ファイルパス¥ファイル名” **SEPARATOR “,” QUALIFIER** 文字の引用符 **BREAKLINE** 改行の種類 **FOLDERPATH** “フォルダ名” SKIP IF EMPTY

※「文字の引用符」の選択により、「QUALIFIER」の後の記述が変わります。

選択した「文字の引用符」	ログ
二重引用符	""""
一重引用符	"""
なし	NONE

※「改行の種類」の選択により、「BREAKLINE」の後の記述が変わります。

選択した「改行の種類」	ログ
CRLF（Windows）	"CRLF"
LF（UNIX系）	"LF"

※「エクスポートの実行有無」で、「レコードが0件の場合エクスポートを実行しない」にチェックをつけると、「SKIP IF EMPTY」が記述されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.